

認定番号：13 サポーター名：三井共同建設コンサルタント株式会社

▶実施内容の分類：(1) 企業等のWeb ページ、SNS、広報誌、ポスター等への情報掲載

## 取組実績

①流域治水に関する情報（テクノロジーレポート）を2ヶ月に1回の頻度で、当社HPで随時公開。同情報はPDFでダウンロード可能。今後も更新を予定。  
(<https://www.mccnet.co.jp/technical>)

②近年の動向に加え、令和7年月11月に開催された「流域治水オフィシャルサポーター交流会」に関する情報を掲載し、様々な取り組みを紹介（当社でやれることの確認）。  
※右記のテクノロジーレポートの例参照

③さらに、実際に流域治水をより知ってもらう手段として、現地見学会を実施。（目黒川）

④昨年度に引き続き、公益社団法人 雨水貯留浸透技術協会で開催の「あまみず交流会」で情報提供（口頭発表）や、自治体職員向け勉強会（特定都市河川）を実施。

⑤流域治水に関する実務経験者による社内勉強会などを実施。

MCC Technology Report  
2025  
三井共同建設コンサルタント株式会社

**流域治水の取り組み 流域治水オフィシャルサポーター（その11）**

**1.R7 流域治水オフィシャルサポーター交流会**  
昨年度に引き続き、令和7年12月に「流域治水オフィシャルサポーター交流会」（主催：流域治水オフィシャルサポーター事務局 国土交通省 水管理・国土保全局 治水課）が開催され、弊社も参加しました。本交流会は、オフィシャルサポーター各企業・団体の取組内容を共有し、相互の意見交換や促進を目的として開催されるものです。今年度は、より一層の交流促進が図られる構成となっていました。令和7年度のオフィシャルサポーターは、全国で148の企業・団体等が認定されています。当日の主なプログラムは以下のとおりでした。

- 国土交通省からの情報提供
- オフィシャルサポーターからの取組発表
- ポスター展示及び自由交流 など

サンプル視感予測雨量などの機能を有し、リアルタイムでの情報閲覧が可能なシステムです。

**(3) 自動販売機搭載型浸水センサー**  
大塚ウエルネスベンディング株式会社様より、「自動販売機搭載型浸水センサー」の提案がありました。国土交通省のランコインセンサ―実証実験の取組内容が紹介されました。

**(4) 気象キャスターによる防災啓発**  
オフィス気象キャスター株式会社様からは、気象キャスターによるマイ・タイムライン講習会や、子ども向けのお天気教室など、防災意識向上に向けた取組が紹介されました。

**(5) 水害対策事業を資金使途とした地方債への投資**  
東京海上自動車火災保険株式会社様からは、地方自治体が発行する水害対策事業を資金使途とした地方債への投資事例として、横浜市および三重県の事例紹介がありました。

**3. ポスター展示**  
会場では、各企業・団体によるポスター展示が行われ、それぞれの流域治水に関する取組内容が紹介されています。自由交流の時間には、直接意見交換を行う機会も多く設けられ、実務的な情報収集・ネットワーク形成に有意義な場となりました。

**写真1 交流会の現地状況**  
昨年度は、当日配布されたパンフレット等を活用し、社内における「流域治水」の認知向上ツールとして活用しました。今回は、流域治水に関する5件の取組発表が行われるとともに、WEB 参加も可能となり、より幅広い交流が促進されました。

**2. 取組発表の紹介**  
**(1) 地域防災への取組**  
宮坂建設工業株式会社様より、「地域防災への取組【24 時間防災体制】」の発表がありました。親子防災教室、地域防災訓練、流域治水講習会など、地域と連携した防災活動の具体的な取組事例が紹介されました。

**(2) 水害リスクマッピングシステム**  
株式会社建設技術研究開発様より、「水害リスクマッピングシステム (RiskMap)」の紹介がありました。36 時間予測、内水リスクマップ、バーチャル水面マップ、アン

**写真2 交流会の現地状況**  
弊社では流域治水に関連する様々な業務を実施しています。加えて、MCC 研究所においても様々な技術研究を行っています。今後も業務・研究において流域治水に資する取り組みを継続・強化していきます。技術的な相談については下記 URL からお問い合わせ下さい。  
<https://www.mccnet.co.jp/>

**4. 弊社からの情報提供**

テクノロジーレポートの例